

えいせいいたび  
永正板碑

鉄輪（神和苑） 個人所有  
市指定有形文化財（建造物）  
昭和 42 年 4 月 11 日指定

温泉旅館神和苑の玄関前の庭園内に立つ。旧所在地は鶴見字馬場水車観音堂前であったという。頂部を山型にし、その下の額部のほぼ中央に 1 条の切込みがある。切込みは両側面までにおよぶ。県内の板碑は大部分が九州型（豊後型とも）と呼ばれ、額部の出が大きい、本板碑の場合はわずかである。碑面に次の種子・銘文がある。

善秀 正秀

イ（地藏菩薩）

妙慶 妙春

種子の彫りはやや粗く、文字も大きく雑な感じのする彫りである。向かって左側面に「永正十一年<sup>甲</sup>戌<sub>1514</sub> 二月日」の紀年銘を陰刻する。こちらは丁寧な彫り。



（小泊 立矢）